

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		・企業理念は毎期社員へ配布している経営方針書に記載し、会社のホームページや社内にも掲示し、都度社員での唱和を行っている。 ・経営方針発表会、スタートアップ研修会、新入社員研修会等を開催し、経営理念や経営目標を社員に説明し共有している。								8	9								17		
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・食品管理憲章、安全業務基準を制定し、事務所および倉庫内に掲示するとともに、経営方針書にも記載して法令遵守の重要性を社員に発信している。																	16		
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・不正競争行為を含む行動規範について、経営方針書に服務規律を明記し、新入社員研修等でも企業倫理や社会的責任について社員に周知徹底している。										10								16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・管理部門と営業部門が任命を受け担当している。 ・活動については担当者が電子掲示板へ都度発信し、社員へ共有している。																		16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・商標等の知的財産権については、弁理士と連携し取得、管理を行っている。							8.2 8.3	9											16
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・個人情報の取り扱いに関するルールを決め、パスワードを使用し、情報管理の周知徹底をしている。																			16
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		・仕入先、顧客との対面でのコミュニケーションを行うことで、問題解決、サービス改善を図っている。クレーム等の問題が発生した場合は、電子掲示板にて社員へ発信、共有し、問題解決を図っている。																	16	17	
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●		・自社のサプライチェーンを把握し様々なリスク管理を行っている。 ・企業理念に基づき、公平公正な取引、法令遵守に配慮しながら取引先との良い協力関係に取り組んでいる。					5			8		10		12	13	14	15	16	17		
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●		・地震の経験を踏まえBCPを策定し、社員に周知徹底している。 ・災害、疾病、サイバーテロ等に備えてBCP発動の役割を決めている。								9		11		13.1						16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●		・安定的株主による自社株式保有構成にしている。								8	9										17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●		・仕入取引先の選別を慎重に行い、適正な商品の調達に取り組んでいる。	1	2		5			8				12	13	14	15	16	17			
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・あらゆる雇用条件において差別しない体制を整備し、皆が平等で公平な仕組みを構築している。(外部通報相談窓口を設置済) ・差別や各種ハラスメントの禁止について、就業規則に定めるとともに、社員向け講習会を開催している。			4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3								16.1 16.2 16.7		
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・安全管理体制を制定し、安全衛生委員会を開催している。 ・安全業務基準等を社内掲示し、経営方針書にも記載して労働環境の整備に取り組んでいる。 ・全社員対象に毎年ストレスチェックを実施し問題発生への対策を実施している。		3						8.8											
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・客観的な人事制度を導入しており、公正公平な人事評価、職務内容、配置を行っている。 ・「同一労働同一賃金ガイドライン」に沿った運営をしている。			5.5			8.5		10.2 10.3											
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためにワークライフバランスを推進している。	●		・業務の見直し、DXへの取り組み等により労働時間の短縮に取り組み、ノーカンクス等の設置を行い、残業時間の徹底管理をしている。 ・『エリヤ総合職』への転換制度や『時間単位年次有給休暇』制度の導入、取引先宛て休暇案内カレンダー(ひな型)の作成等により、働きやすい職場環境づくりと休暇の取得の奨励をしている。 ・よかボス宣言を行い、よかボス企業の登録を受けている。		3		5.5			8.5 8.8		10.3										
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・新入社員研修および入社2年目・3年目自研修等を実施している。 ・スタートアップ研修や幹部候補生向け研修等を実施している。 ・資格取得の推進、管理者向け自己啓発としてeラーニングを実施している。		4	5.5			8	9												
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・健康診断、インフルエンザ予防接種の経費補助を行なっている。 ・健康経営に取り組み、情報誌や社内掲示板を利用して、自社の管理栄養士から栄養に関する情報を発信し社員へ健康に対するアドバイスをしている。		3					8										17		
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・特別支援学校の新卒者および障がい者の雇用に取り組んでいる。 ・『エリヤ総合職』への転換制度や『時間単位年次有給休暇』制度の導入、育児休業取得目標の社内掲示等、働き続けることができる環境整備をしている。		4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3									16.7		
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		・ステークホルダーとの感染症対策として、社内外におけるウェブ会議を励行している。 ・所属部单位で建屋や部屋を分けたり、検温、清掃除菌、換気等の対策を徹底している。		3					8	9.1		11	12								
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		・DX計画を公表し、DX認定を受けている。 ・取引先がデジタルで商品照会・見積依頼ができる仕組みを構築し、商品情報誌等の電子化を実施している。 ・タレントマネジメントやウォイスピッキング等のシステム導入を進めている。							8	9.1		11	12								
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●		・プライト企業の認定を受けている。		3	4				8	9		12									

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・廃棄物の適切な分別・処理に取り組んでいる。 ・システムを利用し、賞味期限切れとなる食品の削減に取り組んでいる。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1			
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・CO2の排出量「実質ゼロ」の寄付型自動販売機を1台設置(旧型の自動販売機を2台撤去)、富合センターや鳥栖支店の屋根に新たに太陽光発電システムを導入し、電力使用量やCO2の削減を進めている。・トラックのハンドル部分に”配送終了後は冷凍機電源OFF”のシールを貼付、節電のPOP掲示等により社員の意識高揚を図り、電力使用量の削減に取り組んでいる。							7.3						13					
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・管理指導と運転手の意識向上、及び社用車の多くをHV車にしていることによりCO2排出の抑制に取り組んでいる。 ・富合センターや鳥栖支店の屋根に新たに太陽光時発電システムを導入し、電力使用量の削減やCO2の削減を進めている。		2.4				7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15				
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・社外での備品購入時にはマイバッグ持参を推進している。 ・生物多様性の保全にも配慮した森林認証用紙(FSC)への切り替えをしている。					6.6							14	15					
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・ペーパーレス化、裏紙の利用を促進している。 ・紙コップの利用をやめ、マイカップ・マイボトルを使用している。 ・ゴミ分別及びリサイクルを推進している。						9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15						
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・節水のPOP掲示等により社員の意識高揚を図り、水道利用量の削減に取り組んでいる。 ・熊本県等が推進する「SDGsくまもと水の国プロジェクトNOW」に協賛している。		2.4			6.1 6.3 6.4 6.6 6.b				11.5		14.1 14.2 14.3	15		17				
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・名刺にバナナペーパーと再生紙を使用している。 ・コピー用紙、封筒、納品書はFSC認証用紙を使用している。 ・自社発行の情報誌はFSC認証を受けている。						9.4			12.4 12.5	13	14	15						
	29	【食品ロスの削減】 ・食品ロスの削減に取り組んでいる。	●		・熊本県が推進する「フードドライブ」に参加、「熊本県エコフィードマッチングステーション」に登録している。 ・『熊本県ひとり親家庭福祉協議会』から紹介があった「こども食堂」のネットワーク団体等へ箱のつぶれ等により正規販売できない商品を毎月提供している。 ・賞味期限管理を徹底してを行い、廃棄が出ないようにしている。	1	2			6.4					12.3		14	15		17			
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		・地域の緑化活動に対して寄付(緑の募金)等で貢献している。 ・寄付型自動販売機を設置し、植林に取り組むことで、カーボンニュートラルを推進している。									11.6 11.7		13.1 13.3		15		17			
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●		・LED化を積極的に行い、エネルギーの削減に取り組んでいる。 ・富合センターや鳥栖支店の屋根に太陽光パネルを設置し、物流倉庫の節電に取り組んでいる。					7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3							
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・"伐って、使って、植えて、育てる"の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●		・熊本県産材の利用を推進している。					6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15				
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●		・緑の募金((公社)熊本県緑化推進委員会)に募金をし、緑化推進事業及び森林整備事業への貢献を行っている。 ・寄付型自動販売機を設置し、植林に取り組むことで、カーボンニュートラルを推進している。					6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15				
	34	【海洋ごみ】 ・環境中に分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●		・販売商品において、プラスチックボトルから紙パック容器への変更を推進している。										12.2 12.5		14						
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●		・社用車の多くをHV車にしている。 ・出張においては公共交通機関の利用を推進している。						9.4		11.2		13.1 13.3								
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13					17.2		

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・商品規格書の管理システムがあり、複数の社内チェック体制を整え、提供する商品の品質と安全性を社内外で共有している。			3.9						9			12.4						
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・年齢や障害の有無に関係なく、できるだけ多くの人が利用できる食品(ユニバーサルデザインフード)の販売を通して、食べる楽しみを提案している。									9.1	10	11.7					17		
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。	●		・生産者と連携し、県産の原材料を使用した商品の開発を行い、地産地消を推進している。		2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17	
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。	●								7						12.2	13.1		15			
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。	●		・深刻な社会問題である人手不足が進む顧客(病院や施設)に対して、問題解決をするためのシステム・サービスの提供をしている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。	●		・農林水産省の支援事業に基づき、需要停滞で余剰となった養殖水産物の積極的提供をしている。		2.3 2.4							8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15	17	
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・地域の清掃活動を定期的に行なっている。 ・地域の各方面への寄付活動を行なっている。 ・地域の企業交流活動を積極的に行なっている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	44	【防災・減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・社内において、防災備蓄や防災グッズを常備している。 ・予防管理組織編成および自衛消防組織編成を取り決め、経営方針書にも明記し、事前防災対策を進めている。				4							11.5		13.1			16		
	45	【防災・減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。	●		・社内にAED(自動体外式除細動器)を設置しており、社員が講習会を受講して社内の防災・減災に取組んでいる。	1.5		3	4							10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。	●		・非常食(水を注ぐだけで食べられるお米、備蓄用に賞味期限が長い商品等)の販売とともに、ローリングストックの勧めと献立作成のアドバイス、取引先へBCPカタログの配布等を行っている。									9		11	12	13.1					
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。	●		・社員に対し、電子日報・POP掲示等によりSDGsの普及啓発や情報提供、教育をしている。 ・熊本本社に『熊本県SDGs登録事業者』の認定証を掲示するとともに、幹部社員が展示会等でSDGsバッジを着用している。 ・管理者向けeラーニングでSDGsの講座を受講している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	48	【インターンシップ等の受け入れ】 ・職場体験、インターンシップの受け入れ、職場間連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。	●		・高校生、大学生のインターンシップを積極的に受け入れている。 ・学校、保育園(栄養教諭、生徒)に対して食育の勉強会を実施している。				4					8.6		10.2					17		
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。	●		・地元の学生を積極的に雇用している。				4.4					8.5 8.6								17	
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。	●		・学校給食において地域の農産物、水産物を積極的に採用・供給し、学校及び栄養教諭と連携することで、子供への教育(食育)に結び付け、地域の農林水産業従事者の確保に取組んでいる。		2		4.3 4.4 4.5					8.6		10.2		12	13	14	15	17	

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。